

ソフトウェアサービス



[2025年11月掲載]

お客様の環境に最適なシステムのご提案と無駄のないシステム構築、より高品質なシステム稼働のためのサービスをご提供します。

特長

最適なご提案

企業の経営・事業環境の急速な変化に伴い、ICTシステムも柔軟かつ俊敏に対応する必要があります。ソフトウェアサービスでは、高信頼・高性能なシステム運用やコストを抑えたシステム管理など、お客様の要件に合わせて、富士通のソフトウェアを活用した最適なシステム構築をご提案します。

高品質なシステム構築を支援

製品を熟知した経験豊富な技術者が、お客様の要件を的確にとらえた高品質なシステム構築をご支援します。必要最小限の期間で効率的に、安定性の高いシステム設計・構築を実現します。

豊富なトレーニングメニュー

お客様要件に合わせた内容・場所・日時でトレーニングを提供し、デジタルイノベーションを現場で支える方の技術習得をご支援します。

ラインナップ

Fujitsu Software Update Service

お客様のソフトウェアエンジニアリングを促進しアップデート時に発生する非互換影響調査をご支援します。

ソフトウェア適用支援サービス

富士通のソフトウェアの設計・導入・構築・運用をご支援します。

データベース移行サービス

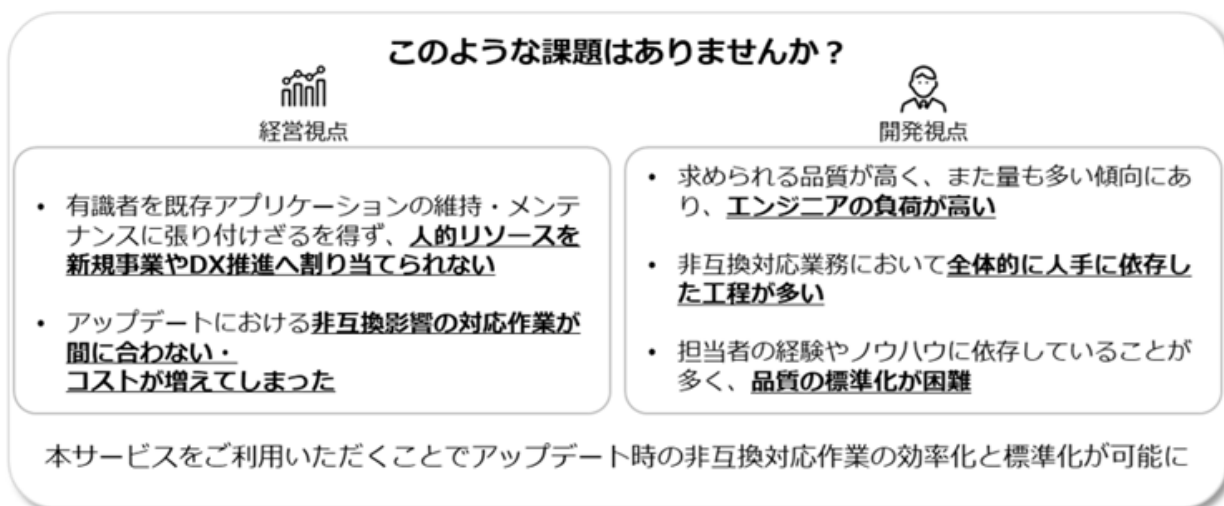
富士通のデータベースへのスムーズな移行をご支援します。

外字環境統合サービス

既存の外字環境から新しい外字環境への移行・統合をご支援します。

Fujitsu Software Update Service

ソフトウェアの複雑化と外部環境変化により、開発ライフサイクルを回す負荷は年々増加しています。Software Update Service Incompatibility Impact Analysisは、ソフトウェアアップデートのライフサイクルという観点から、お客様のソフトウェアエンジニアリングを促進しアップデート時に発生する非互換影響調査を支援するサービスです。アップデート作業の効率化によりコストと期間を削減し、品質を標準化すると共に有識者への依存を解消します。



非互換影響調査の作業効率化を実現

非互換情報の収集やプログラム資産への影響確認など、従来専門的な知識が必要だった非互換対応作業の一部の工数を大幅に削減します。非互換調査結果レポートにより、経験が浅い担当者でも非互換対応作業が可能となるため属人化を解消します。



品質の標準化

製品開発のノウハウを生かし独自開発した非互換データベースにより、非互換による影響を漏れなく検出し安定した品質を確保します。

サービスの流れ

1. お客様からの要件ヒアリング
お客様の要望を確認し、方針を策定します。
2. サービス実行環境の準備
お客様ご自身または弊社にてサービスの実行に必要な環境を準備します。
3. 非互換影響調査作業
上記環境にて弊社員が作業を行い、非互換調査結果レポートを作成します。
4. 非互換調査結果レポートの提供
プログラム資産への影響についてまとめた非互換調査結果レポートを提供します。

サービス価格

サービス名称	備考	価格
Software Update Service Incompatibility Impact Analysis (JDK)	Javaアプリケーションの非互換調査 レポートを提供	3,000,000円/1MStepまで
	影響調査役務サービス購入が前提 1MStep以上調査が必要な場合、 100Kstepごとに1サービス購入	300,000円/100KStep追加

ソフトウェア適用支援サービス

富士通のソフトウェアをご利用になるお客様に、システムの設計・導入・構築・運用をご支援します。お客様の環境に最適なシステムのご提案と無駄のないシステム構築、より高品質なシステム稼働のためのサービスをご提供します。必要なサービスを組み合わせてご利用いただけます。

ご支援内容



工程	サービスメニュー	サービス概要
全般	ソフトウェアトレーニング (オーダーメイド)	富士通ソフトウェアトレーニング(eラーニング・講習会)のコース(注1)および富士通ソフトウェアマスター試験(注2)を、お客様のご要望に合わせた場所や日時で実施します。 注1 詳細については、富士通ソフトウェアトレーニングをご覧ください。 注2 詳細については、富士通ソフトウェアマスターをご覧ください。
	ソフトウェア テクニカルデスク	Q&A対応 富士通のソフトウェアについての仕様・利用方法・運用環境等に関するご質問・ご相談に対して、お客様の環境を考慮したQ&Aサービスを実施します。ソフトウェアの専門家が電子メールにて回答します。 オンサイトミーティング 富士通のソフトウェアについての仕様・利用方法・運用環境等に関する技術支援を、ソフトウェアの専門家が直接お客様先に訪問して実施します。
開発	アプリケーション/DBサーバシステムの評価・診断	構築中のアプリケーションサーバ・データベースの実行環境情報(パラメーター定義・格納定義・運用定義・クラスタ環境定義)や性能情報をもとに、システム環境を診断し結果を報告します。 アプリケーションサーバやデータベースサーバの確実な稼働を支援します。
導入・構築	ISV/OSS製品と富士通のソフトウェアの導入支援	ISV/OSS製品と富士通のソフトウェアを連携したシステムの構築を支援します。まずは、ご相談ください。
	ソフトウェア環境構築支援	専任技術者が富士通のソフトウェアをインストールします。インストール後は、基本操作の動作確認をします。必要に応じてシステム管理者向けの操作説明やテンプレートのカスタマイズを実施します。
	ソフトウェア環境設計支援	お客様要件に基づき富士通のソフトウェアを利用したシステムを設計します。ソフトウェアの機能を熟知し、導入経験・ノウハウが豊富な専任技術者が環境設計を行うことにより、より安定性の高いシステム構築を早期に実現します。
運用・保守	SupportDesk	当社では、ソフトウェアを安心してご利用いただくために、保守・運用支援サービス「Support Desk Standard」をご用意しています。

対象となるソフトウェア

ビジネスアプリケーション基盤

- アプリケーションサーバー
Fujitsu Software Interstage Application Server
- 基幹オンラインシステム基盤
Fujitsu Software Interstage Business Application Server

データベース

- デジタルビジネスを支えるデータベース
Fujitsu Enterprise Postgres
- 高信頼データベース
Fujitsu Software Symfoware Server

運用管理

- クラスタリングによる高信頼基盤
Fujitsu Software PRIMECLUSTER
- ライフサイクル管理
Fujitsu Software Systemwalker Centric Manager
- ジョブ管理製品
Fujitsu Software Systemwalker Operation Manager

通信・ホスト連携

- サーバー導入型ホストコンピューター端末エミュレーションソフトウェア
Fujitsu Software WSMGR for Web

日本語運用

- 文字流通管理
Fujitsu Software Interstage Charset Manager

価格

サービスの価格は、システムや製品の構成、サービスの組み合わせなどにより変わります。詳細については当社担当営業までお問い合わせください。

データベース移行サービス

デジタルトランスフォーメーション(DX)を実現させるにあたり、レガシーシステムに蓄積されたデータの活用がより重要になる一方で、運用コストの問題やプラットフォームの選択が限定されるという課題があります。さらに、センサーデータなど様々なシステムのデータと組み合わせた活用も求められています。

このため、クラウドを含めマルチプラットフォームに対応したオープンなデータベースへの移行が、DX実現のひとつの条件と言えます。

富士通はお客様のデータ資産を確実に移行するサービスをご提供し、お客様のDX実現に向けてデータベースのマイグレーションをご支援します。

ご支援内容

データベース移行サービスでは、大切なお客様資産の確実な移行に向け、工程ごとに以下のご支援内容を用意しています。

工程	アセスメント	要件定義	設計	導入・構築	テスト	運用・保守
データ	現行システムの見える化 移行後の影響調査	機能要件・非機能要件の定義	移行方式設計	移行準備 移行		
アプリケーション			変換方式設計	移行	単体テスト	チューニング
データベース			方式設計 構成設計 環境設計 運用設計	インストール 環境構築	単体テスト	性能診断 チューニング

アセスメント

現行システムのシステム構成や資源(アプリケーション・データなど)を見える化し、移行時の影響を分析します。具体的には、アプリケーションのSQL、コマンド、APIおよびデータベース定義ファイル(DDLファイル)の非互換部分を抽出し、修正方法を検討します。

要件定義

機能要件および非機能要件(可用性要件、運用要件、セキュリティ要件など)を定義します。

設計

- データ移行方式、アプリケーション変換方式を設計します。
- 要件定義に基づき、データベースの方式設計、構成設計、環境設計、運用保守設計を実施します。

導入・構築 テスト

移行に関するご支援内容です。

- データ移行のための準備(移行ツール・移行手順書の作成)
- データベース定義ファイルの変換
- データの移行
- アプリケーションの移行(SQL非互換箇所・非SQL部分(データベースのコマンド、API))
- 単体テスト(基本操作の動作確認)

環境構築に関するご支援内容です。

- 移行先システムへの、データベースのインストール・環境構築
- 単体テスト(基本操作の動作確認)

運用・保守

- データベース・OS資源(メモリ、ディスク)の利用状況など、性能情報を採取・分析・報告します。
- 性能診断結果に基づき、性能改善に向けて支援します。
 - ・ データベースパラメタチューニング
 - ・ アプリケーションのチューニング(遅いSQLの改善)

対象となるソフトウェア

移行先 データベース

- デジタルビジネスを支えるデータベース
Fujitsu Enterprise Postgres
- 高信頼データベース
Fujitsu Software Symfoware Server

サービス価格

サービス名称	価格
データベース移行サービス	個別見積

外字環境統合サービス

業務統合やシステム更改を行う場合、外字などの文字に関し多くの移行課題を解決する必要があります。外字環境統合サービスは、既存の外字環境を新しい外字環境へスムーズに移行・統合するためのサービスです。移行・統合に必要な外字ファイルおよび文字コード変換テーブルの作成を支援し、システム構築時のお客様の負担を軽減します。

業務統合やシステム更改時の悩み



外字登録可能な領域が少ないため、既存の外字の見直しが必要

- ✓ 類似した外字をどれに統一すべきか判断できない。
- ✓ 重複している外字を目視で検出しなければならない。



業務統合やシステム更改後も、同じ字形の表示・印刷が必要

- ✓ システム間でフォントが異なる場合、すべての字形を比較するため時間がかかる。
- ✓ システム間で文字コードが異なる場合、すべての文字コードの組づけと対応表作成に手間を要する。



Windows10(JIS2004規格)へ移行後も、旧システム(JIS90規格)の文字の表示・印刷が必要

- ✓ 字形が変更・追加されたJIS2004文字が外字登録済みか、一文字ずつ目視での確認となる。
- ✓ Windows10で表示されなくなったJIS90文字を、外字として新規作成する必要がある。

外字環境統合サービスで解決します！

豊富な実績と経験

自治体・官公庁などを中心に200団体以上のお客様に対して文字統合を行っています。一万文字以上の大規模な文字同定(注)作業も対応しており、小規模から大規模までお客様の「文字に関するご要望」にお応えできます。

高品質な文字同定

経験豊富な専門スタッフにより、類似した外字や複数システムの細かな字形比較をスピーディーに行います。文字のバランス・とめ・はね・はらいなどの細部まで考慮した、高品質の文字同定を実施します。

注：文字同定とは、ある文字を他の文字と同じ文字であると判断することを意味します。

サービスの流れ

要件のヒアリング、同定基準の策定、同定結果の確認など、きめ細かな対応により、お客様のご要望に沿ったサービスを提供します。

1. お客様からの要件ヒアリング
お客様の要望を確認し、方針および同定基準を策定します。
2. 文字同定作業
お客様がご使用の外字ファイルをもとに文字同定し、文字コードの対応表を作成します。
3. 文字同定結果確認リストの提供
文字同定結果が、要件ヒアリングで策定した基準を満たしていることを、お客様に確認していただきます。
4. 文字コード変換テーブルおよび外字ファイルの提供
文字同定結果確認リストに基づいた文字コード変換テーブルおよび外字ファイルを提供します。

サービス価格

サービス名称	価格
外字環境統合サービス	個別見積

富士通株式会社

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/resources/services/software-services/>